

# 水俣病補償費で養殖

## 八代市の 昭和漁協 稚コイやハマグリ

漁業補償金の一部を稚コイ、ハマグリ養殖につぎこみ、来秋の熊本県体までには初出荷して漁民の立ち上がりをねらっている漁協が八代市にあり、期待がよせられている。

八代市昭和の昭和漁協では、外水面の利用価値が工場汚水や水俣病にたたられて低下してしまったので、その対策として内水面と干潟の利用に力を入れることになり、昨年の春から稚コイとハマグリを養殖しているが、稚コイ（平均〇・七五ギ）ハマグリとも成長率がよく明るい見通しがついた。

そこで組合側では来春から大々的な養殖を行なうことになった。同組合の計画によればこのほど配分が決定した水俣病の補償金の一部とこれに組合資金を加えて内水面に五万尾の稚コイ

と干潟にハマグリの種類七方五千ギを入れて養殖、来秋の熊本県体に出荷を計画しており、その成果が不況にあえぐ市内の各漁協関係者から注目されている。